

第2回人吉球磨定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

■開催日時 令和6年9月27日（金）午後2時～午後3時50分

■開催場所 人吉市役所2階 201・202大会議室

■出席者 ビジョン懇談会委員17名/24名中の出席

No		団体名(所属)	役職名	氏名 (フリガナ)	
1	人吉市	熊本県立大学総合管理学部	教授	井田 貴志	出席
2		人吉市医師会	監事	岐部 明廣	出席
3		人吉温泉観光協会	副代表理事	川野 精一	出席
4		球磨焼酎酒造組合	副理事長	堤 純子	欠席
5		人吉商工会議所	専務理事	今村 修	出席
6		くま川鉄道株式会社	取締役社長	永江 友二	出席
7	錦町	球磨地域農業協同組合	理事 (金融共済専門委員)	久保田 徳男	出席
8		錦町農業委員会	農業委員	尾方 安枝子	欠席
9	多良木町	球磨郡公立多良木病院企業団	事務長	黒木 政裕	出席
10		多良木町文化協会	会長	太田 千里	出席
11	湯前町	湯前町区長会	会長	中武 義秋	欠席
12		湯前町文化財保護委員会	委員長	溝下 昌美	出席
13	水上村	水上村立保育所	所長	椎葉 由美	出席
14		水上村社会福祉協議会	福祉活動専門員	中原 奈々	出席
15	相良村	相良村商工会	青年部長	牧野 耕文	欠席
16		相良村有害鳥獣捕獲隊	隊長	岩田 明博	欠席
17	五木村	(株)子守唄の里五木	駅長	井元 淳	欠席
18		五木村観光情報センター	センター長	仮山 常雄	出席
19	山江村	NPO法人かちやリンクやまえ	専務理事	本山 民子	出席
20		山江村民生委員児童委員協議会	会長	谷川 安照	出席
21	球磨村	球磨村森林組合	参事	犬童 大輔	欠席
22		球磨村教育委員会	教育委員	中井 久美	出席
23	あさぎり町	あさぎり町婦人会		嘉村 淳子	出席
24		あさぎり町農業女性の会	会長	永井 友美	出席

【幹事会】

市町村名	課名	職名	氏名
錦町	企画観光課	課長	岩尾 和文
多良木町	総務課	課長	東 健一郎
湯前町	企画観光課	課長	伊藤 賢一郎
水上村	総務課	課長	田代 浩章
相良村	企画商工課	課長	佐竹 淑子
五木村	総務課	課長	竹村 文秀
山江村	総務課	主幹	白川 満
球磨村	復興推進課	課長	大岩 正明
あさぎり町	企画政策課	課長	沖松 勝彦

【オブザーバー】

熊本県南広域本部 球磨地域振興局	総務振興課	課長	齋藤 信一郎
---------------------	-------	----	--------

【部会事務局】

部会名	検討母体	事務局 市町村	担当課	役職	氏名
救急医療部会	(球磨圏域保健衛生協議会でまとめている)	あさぎり町	健康推進課	課長	荒川 誠一
発達相談部会	球磨圏域乳幼児発達相談事業運営協議会				
障がい者(児)部会	人吉球磨障がい者総合支援協議会	人吉市	福祉課	主幹	今村 紀仁
文化部会	球磨地域文化財広域連携協議会	人吉市	文化課	係長	塩谷 達郎
				主席	手柴 友美子
観光部会	市町村企画・観光担当者会議	人吉市	商工観光課	主幹	山室 義広
農業部会	くま農業活性化協議会	あさぎり町	農林振興課	課長補佐	田口 宏幸
林業部会		人吉市	農林整備課	主幹	坂口 貴司
しごと創生部会	人吉・球磨しごと創生連絡協議会	あさぎり町	商工観光課	参事	岩本 祐一郎
鳥獣害対策部会	球磨地方公有林経営協議会	五木村	産業振興課	主事	馬場 秀也
消費生活部会	人吉球磨生活支援ネットワーク	人吉市	地域コミュニティ課 (消費生活センター)	課長補佐 (兼係長)	鵜口 智広
地域公共交通部会	人吉球磨地域公共交通担当課長会	人吉市	交通政策課	係長	米原 行宏
人材育成部会	人吉球磨総務担当課長会	人吉市	総務課	課長	那須 裕史

【事務局】

人吉球磨定住自立圏推進協議会事務局	人吉市	復興政策部 復興支援課	課長	竹内 常泰
			係長	古賀 靖章
			主任	島田 祐芽
			主任 【担当】	山本 和也

■ 会議次第

- 1 開会
- 2 出席者紹介
- 3 会長挨拶
- 4 議事（1）第3次定住自立圏共生ビジョン（案）について
- 5 その他
- 6 閉会

■ 議事内容

事務局	議事（1）第3次定住自立圏共生ビジョン（案）について 第1章～第3章の変更内容を事務局から説明
各委員	（意見なし）
事務局	議事（1）第3次定住自立圏共生ビジョン（案）について 第4章 具体的な取組内容について 【文化部会】【観光部会】【農業部会】 資料に基づき部会事務局から説明
委員質疑	
溝下委員	<p>日本遺産認定が取り消されるかもしれないと新聞で知ったが、現在の状況はどうなっているのか。</p> <p>日本遺産認定の前後は、文化財に関する講座などが多数あったが、ほとんどなくなってしまった。特に行政や観光に携わる方に日本遺産の価値を知ってもらうための講座を開催してほしい。</p>
文化部会	<p>日本遺産認定については、文化庁から現地調査があったところ。その場では、再認定とはならず、再審査となっている。12月ごろに結果が出る予定。このビジョンの中には、再認定される見込みで記載しているが、審査結果次第では、修正が必要と考えている。</p> <p>講座については、コロナ禍の影響もあり、全く開催できない状況だったが、徐々に講座数が回復しているところ。今後も人材育成のためにも講座を実施する。</p>
太田委員	<p>アニメツーリズムマップという立派なものがあるが、これを置いている店舗の方は、内容について理解されているのか。</p>
観光部会	<p>マップは、観光客が立ち寄る場所に置いていただいているが、すべての方が内容を理解されているわけではない。理解していただけるよう努力していく。</p>
久保田委員	<p>現在、米の価格が最高価格となっており、農家の方も喜んでいいる。こういう状況なので、生産意欲が向上して一つの弾みになればと考えている。しかし、機械購入といった投資ができない状況にあり、後継者不足も深刻となっている。</p>

井田会長	<p>ここに書いてあるスマート農業を取り入れながら、省力化して、どうにか現状維持できるように努めていく。</p> <p>需要を見込んで生産し過ぎると、価格が下がり苦しくなる。それを見据えて取り組みを行ってほしい。</p>
	<p>【救急医療部会】【発達相談部会】【障がい者（児）部会】</p> <p>資料に基づき部会事務局から説明</p>
委員質疑	
岐部委員	<p>医療の取組については、もともとやっていたので、補助金等も貰っていた。このビジョンに入れなくてもいいと思う。入れることで金額増える等がないと、全く変わっていないのにビジョンに載せるのは違和感がある。</p>
事務局	<p>このビジョンに載せることによって、一般財源から支出している分の8割が特別交付税として措置がある。内訳については、上限が決まっているので、各市町村でバラつきがある。</p>
岐部委員	<p>私が知っているかぎり、交付税が主で自主財源ほとんどないと思う。載せる必要があるのか。</p>
井田会長	<p>従前からある事業をビジョンに載せることによって、事業実施者に何かしら上乘せがあるのではないかということですが、あくまで自治体の一般財源の一部が交付税措置されるということです</p>
補足 （会議後に確認した内容）	<p>人吉市を例にすると「救急医療体制充実化事業」のうち、3分の1がその他の交付税で賄われている。残りの3分の2が自主財源からの支出となり、そのうち8割が定住自立圏の交付税で賄われている。</p> <p>「医療従事者確保・育成支援事業」は、1次ビジョンが始まった平成27年から准看への補助額が倍増している。</p> <p>定住自立圏の取組により、自主財源の負担軽減と事業実施者への上乗せが図られている。</p>
	<p>【林業部会】【しごと創生部会】【鳥獣害対策部会】</p> <p>資料に基づき部会事務局から説明</p>
委員質疑	
	なし
	<p>【消費生活部会】【地域公共交通部会】【人材育成部会】</p> <p>資料に基づき部会事務局から説明</p>

委員質疑	
	なし
井田会長	全体をとおして、ご意見ありませんか。
委員質疑	
岐部委員	今回の改定において一番の目玉はどれなのか。
事務局	令和7年度から交付金が無くなることもあり、「観光地域づくり推進事業」が力を入れていくべき事業と考える。
永江委員	従前からあったものに対して、国から交付金があるので共生ビジョンを作るのはいいと思う。ただ、それは手段であって、地域が共生していくための目的を持たないといけない。そのために林業従事者を集めて用具を共有できないかとか、観光と公共交通と一緒に会議をやるとか、そういう協議の場が無い。今後は地域のプレイヤーたちも行政のバックアップを受けて、しっかり協議することが必要だし、その中で人吉球磨と一緒にできることが見えてくると思う。みんな本気で人吉球磨のことを考えていければいいと思う。
井田会長	<p>今回第3クールだったので、もっとドラスティックに変わると思っていました、豪雨災害の影響があるので、市町村の職員が疲弊している。2024年度に作った内容なのにデジタル化等の文言が見られない。唯一スマート農業が書いてあるぐらい。会長のところの名前を消して、市町村が作りましたと言いたい。</p> <p>期待される効果の文章も表現の統一性がない。ぜひとも次に作成するときは、前例主義を脱却し、新しいことに挑戦してほしい。前例主義は楽だけど、貧乏くじを引くのは住民。だから人口が減っていく。例えば移住政策等をなぜ入れないのか。肥薩線についても復旧するまでに地域がどういう準備をするかにかかっている。</p> <p>その辺も踏まえて、3次ビジョンはこのままだと思いますが、審議事項でなければ多少の変更はできますので、各部会大変だと思いますが、検討していただければと思います。</p>
永江委員	それぞれ自分の町で精一杯色んな取組をされていると思う。例えば僕らプレイヤーを使って、たくさんの人を巻き込んでほしい。あと、県の方も来ていただいているので、ビジョンを作るうえでマニフェストみたいなものを作って、それを落とし込んでいけば、作りやすいのではないかと。決して責めているわけではなくて、プレイヤーみんな集めても難しいと思うので、まずは各業界の方を集めて、繋げていくようなことができればよいのでは。
井田会長	55ページの推進体制のところに関係する民家事業者等を定期的に入れて、意見交換する場を作る必要がある。それが無いので民間などには何も伝わっていない。かつ部会間の交流も定期的にしなないといけない。年に1回、異動のときだけでなく定期的にしてほしい。今言われたとおり、行政だけでは事業はできないので、民間も入れて進めていただきたい。

事務局	ありがとうございました。3次ビジョンはこのような形になるが、今後は事業間の連携や事業者の意見を聞きながら、ブラッシュアップしていきたい。
事務局	その他 皆様からいただいた意見を反映させて、10月18日の推進協議会で諮る。その後、11月中旬ごろにパブリックコメント、住民の皆様から意見を伺う。また、12月20日に3回目のビジョン懇談会を行いますので、ご出席ください。